

藤本壮介展 未来の未来

Sou Fujimoto: FUTURES OF THE FUTURE

2015年4月17日（金）～6月13日（土）

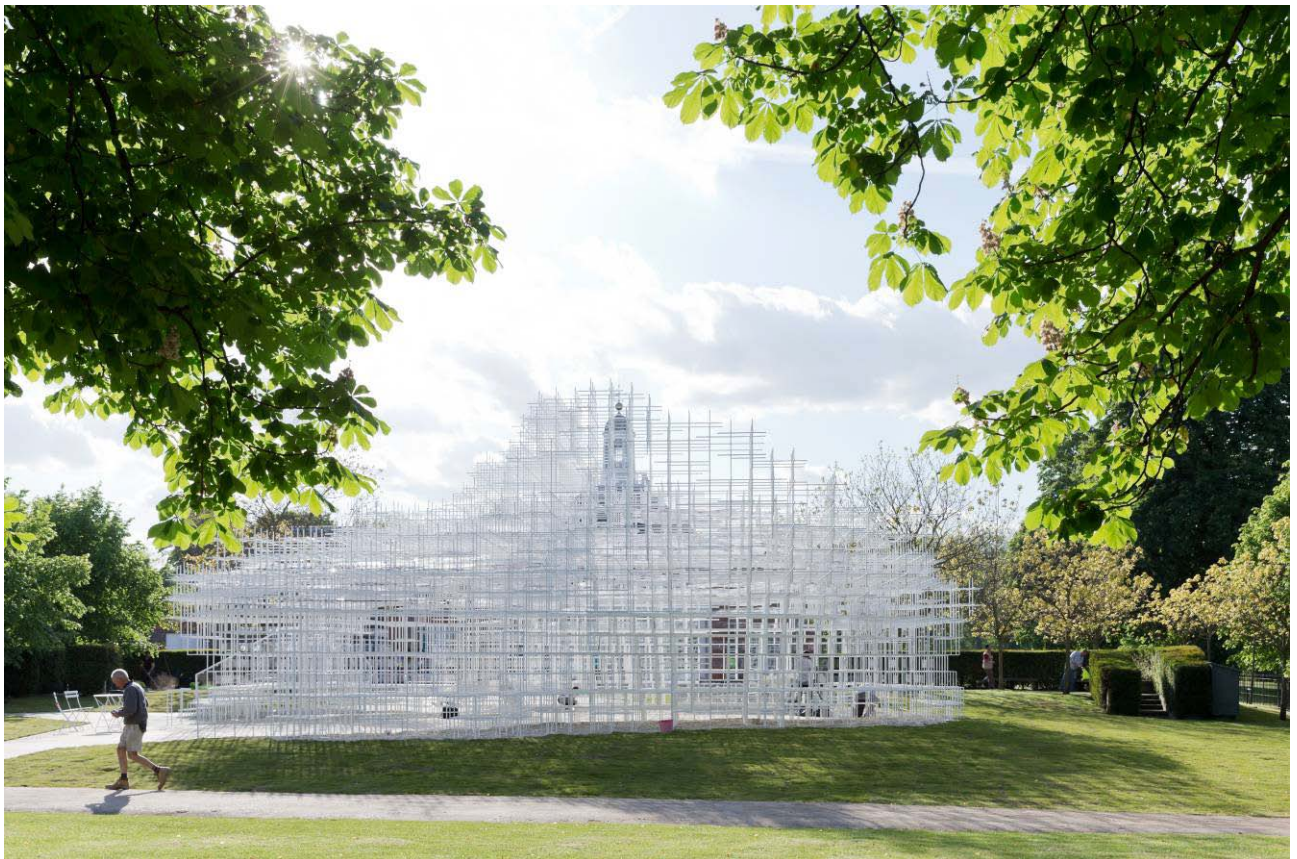
会場＝TOTO ギャラリー・間（東京都港区南青山1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 3F）

休館日＝月曜・祝日（日曜開館）※2015年度より日曜日も開館いたします。

開館時間＝11:00～18:00 入場無料

講演会：2015年4月28日（火）18:30～

会場＝イイノホール（東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング 4F）事前申込制



Serpentine Gallery Pavilion 2013（イギリス、ロンドン／2013年）©Iwan Baan

展覧会について

TOTO ギャラリー・間では、次代を担う若き建築家・藤本壮介氏のこれまでの活動を通して、これからの建築の可能性を提示する展覧会「藤本壮介展 未来の未来」を開催します。

今や国内外に十数ものプロジェクトを抱え、日本を代表する建築家のひとりとなった藤本壮介氏のそのデビューは鮮烈でした。2000年に実施された青森県発注の「県立美術館設計競技」には、国内外の著名建築家やアトリエ事務所、組織事務所がひしめき、393もの応募案が提出されました。その中から、ただひとりで応募した藤本氏の案が2位を獲得。実現には至らなかったものの、審査員らの高い評価を得、一躍建築界にその名が知られるところとなりました。

それから15年、住宅から公共建築まで100を超えるプロジェクトに挑んできた藤本氏は、常に人と空間のあり方、都市とのつながりを意識しながら試行錯誤を繰り返し、「House N」、「Tokyo Apartment」といった住宅から「武蔵野美術大学美術館・図書館」、「Serpentine Gallery Pavilion 2013」等々、新しい空間の創出にチャレンジし、自身の思考を着実に具現化してきました。

本展では、過去の主要プロジェクトや現在進行中のプロジェクトを通じて、氏の思考、創作の過程を紹介するとともに、ここからの「建築の未来」の可能性が示されます。第1会場（3F）と中庭にかけては、これまでに手掛けたプロジェクトや進行中のプロジェクトから、100あまりの模型を展示。藤本氏の生み出してきた空間の変遷を辿ることで思考の連なりを、第2会場（4F）では、現在の藤本壮介氏が模索する次の時代へ向けた建築の未来象を示します。それは、建築家・藤本壮介氏が改めて建築を根底から問い直すという思考の実験であり、建築の可能性を示すものとなるでしょう。

ぜひ、建築家・藤本壮介氏のリアルな「試行錯誤」に耳を澄ましていただければと思います。

展覧会情報

展覧会名（日）	藤本壮介展 未来の未来
展覧会名（英）	Sou Fujimoto: FUTURES OF THE FUTURE
会期	2015年4月17日（金）～6月13日（土）
開館時間	11:00～18:00
休館日	月曜・祝日（日曜開館） ※2015年度より日曜日も開館いたします。
入場料	無料
会場	TOTO ギャラリー・間 〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 3F TEL=03-3402-1010 URL= www.toto.co.jp/gallerma/
交通案内	東京メトロ千代田線 乃木坂駅3番出口徒歩1分 都営地下鉄大江戸線 六本木駅7番出口徒歩6分 東京メトロ日比谷線 六本木駅4a番出口徒歩7分 東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営地下鉄大江戸線 青山一丁目駅4番出口徒歩7分
主催	TOTO ギャラリー・間
企画	TOTO ギャラリー・間運営委員会 特別顧問：安藤忠雄 委員：岸和郎／妹島和世／内藤廣／エルウィン・ビライ
後援	（一社）東京建築士会／（一社）東京都建築士事務所協会／（公社）日本建築家協会 関東甲信越支部／（一社）日本建築学会関東支部

建築家紹介

展覧会コンセプト文

「未来の種としての建築」

建築をつくるということは「未来の種」を蒔くことではないでしょうか。

僕たちが設計する建築は、敷地の条件やクライアントの要望、地域社会の文化的歴史的な背景などに耳を澄まし、さまざまな要因と対話をする中からインスピレーションを得て現実の場所をつくり出すものです。それは現実社会の潜在的な可能性に形を与える作業だと言えるかもしれません。そして可能性が顕在化することを未来と呼ぶとするなら、そのきっかけとなる小さな建築的な提案は「未来の種」なのです。

それは未来を予想することとは違います。また未来を決めつけることとも違います。完成された未来図ではなく、むしろ未来の無数の断片とでも言うべき、可能性と予感の「種」を蒔いていくこと。

大学生時代、ル・コルビュジエやミース・ファン・デル・ローエといった偉大な建築家の作品は、僕に建築の喜びと大きなインスピレーションを与えてくれました。それはやはり未来に向けて蒔かれた無数の種から、小さな可能性が芽吹いた瞬間のひとつであったと思うのです。

この展覧会では、過去の代表作や現在進行中のプロジェクトだけでなく、未来に向けた僕自身の現在進行形の試行錯誤を展示したいと思っています。

それは見たことのない奇妙な建築かもしれません。まだ建築になりきれていない、予感の予感のようなものも多く含まれているかもしれません。しかし、それらはどれも、建築のもっとも本質的な問い掛けから始まっています。未来に、僕たちはどんな場所に、どんな社会に、どのように住むのだろうか？「身体と空間」、「内部と外部」、「自然と人工」、「個と共同体の関係」とは？もっとも原初的な問いこそが、未来へと繋がっていくのです。

未来へと投げかけられた種がまた新しい未来をつくり出す。その思いを込めて、展覧会のタイトルを「未来の未来」としました。これらの開かれた未来の種から、皆さんとともに、さまざまな未来の未来を想像していくことができれば幸いです。

藤本壮介

藤本壮介（ふじもと そうすけ/Sou Fujimoto）

1971年北海道生まれ。1994年東京大学工学部建築学科卒業、2000年藤本壮介建築設計事務所設立。主な作品に「Serpentine Gallery Pavilion 2013」（イギリス、ロンドン、2013年）、「House NA」（東京都、2011年）、「武蔵野美術大学美術館・図書館」（東京都、2010年）、「House N」（大分県、2008年）。Liget Budapest House of Hungarian Music（ハンガリー）国際設計競技一等受賞（2014年）、Wall Street Journal Architecture Innovator 2014（2014年）、モンペリエ国際設計競技最優秀賞（2014年）、第13回ベネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館の展示で金獅子賞（2012年）、王立英国建築家協会（RIBA）インターナショナル・フェローシップ（2012年）、台湾タワー国際設計競技（台湾）1等（2011年）、ベトン・ハラ ウォーターフロントセンター国際設計競技（セルビア）1等（2011年）、JIA日本建築大賞（2008年）など受賞多数。



© David Vintiner

関連プログラム

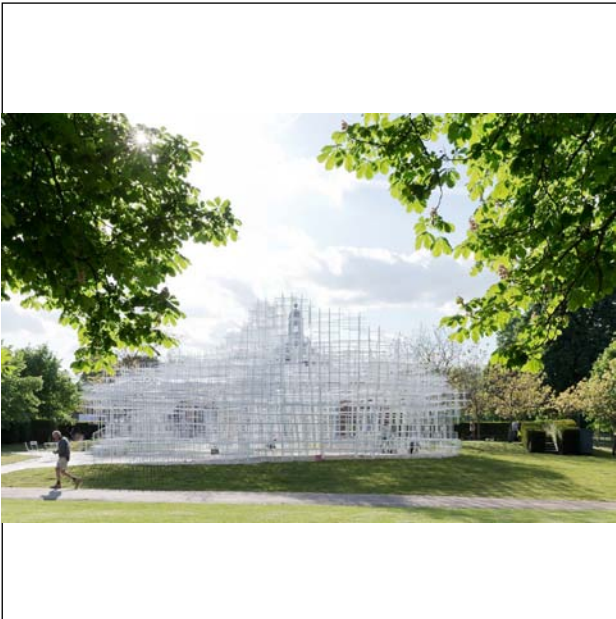
藤本壮介講演会「未来の未来」

日時	2015年4月28日（火） 17:30 開場、18:30 開演、20:30 終演（予定）
会場	イイノホール（東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 4F）
定員	500名
参加費	無料
参加方法	事前申込制：申込期間内にウェブサイトよりお申し込みください。 URL= www.toto.co.jp/gallerma/
	抽選の上、2015年4月21日（火）までに結果をご連絡いたします。
お申込期間	2015年2月27日（金）～4月12日（日）

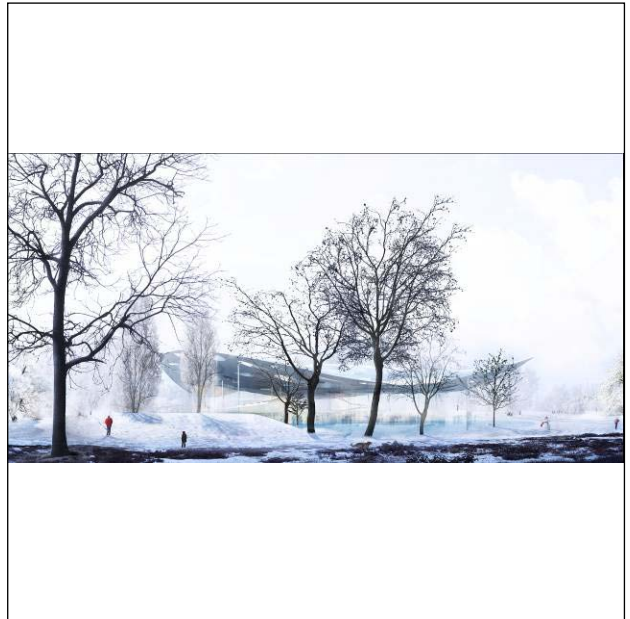
関連書籍

『Sou Fujimoto Architecture Works 1995-2015 藤本壮介建築作品集』

著者	藤本壮介
発行日	2015年4月中旬（予定）
体裁	B5判変型（190×250）並製、380頁、和英併記
発行	TOTO出版（TEL=03-3402-7138 URL= www.toto.co.jp/publishing/ ）
概要	大学卒業後のコンペ案から海外で進行中の最新プロジェクトに至るまで、藤本壮介氏のキャリアのほぼ全ての作品を網羅した、藤本壮介作品集の決定版。写真や図面、藤本氏自身による作品解説とともにおのこの作品の魅力を端的に表したキャッチフレーズによって紹介します。



[1] Serpentine Gallery Pavilion 2013 (イギリス、ロンドン / 2013年) ©Iwan Baan



[2] 「Liget Budapest House of Hungarian Music 国際設計競技」案 (ハンガリー、ブタペスト / 2015年) © Sou Fujimoto Architects



[3] House N (日本、大分 / 2008年) © Iwan Baan



[4] L'Arbre Blanc (フランス、モンペリエ / 進行中) ©SFA+NLA+OXO+RSI